

(様式1)

令和6年度 学校評価結果報告書(特別支援学校用)

(1) 学校教育目標	1 心豊かな人間性を培うとともに、たくましく生きるための健康や体力を育てる。 2 自ら学び自ら考える力を定着させるとともに、社会的、職業的自立への意欲を育てる。 3 社会生活及び職業生活に必要な基礎的基本的知識・技能や態度・習慣を育てる。
------------	---

学校整理番号	特10
学 校 名	青森県立青森第二高等養護学校
対象障害種別	視覚・聴覚・知的・肢体・病弱

(2) 現状と課題	知的障害に加え、発達障害や精神疾患を有する生徒が増加しており、多様化する生徒への対応や個別の支援を教職員が力を合わせて行っているが、個別対応への割合が年々増えてきている。その中で、一人一人の適性や能力に応じた職業教育や産業現場等における実習等を通して、勤労に対する基本的態度や意欲を育み、卒業後の生き方を考えることができるようキャリア教育の充実に努めている。 積極的、予防的な生徒指導を展開し、生徒の主体的な話し合いによる「二高養宣言」を通した指導を展開するとともに、令和4年度からは「校内支援委員会」を設置して精神的な問題を抱える生徒に対する対応について組織的に検討する場を設けている。今年度はいじめの認知件数については2件、懲戒処分に関しては12件生じていることから、今後も未然防止を念頭に置いた積極的な生徒指導が求められる。
-----------	--

自己評価実施日	令和 6 年 12 月 6 日(金)
学校関係者評価実施日	令和 7 年 2 月 18 日(火)

(3) 重点目標	1	ICT機器を活用した楽しく分かる授業づくりの推進
	2	キャリア教育を通した全教職員による進路指導
	3	生徒の主体性重視と社会性につなげる生徒指導
	4	特色ある学校づくりと魅力発信

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校運営協議会委員(8名)※校長含む 教頭 事務長 教務主任 生徒指導主事 進路指導主事 保健主事 寄宿舎寮務主任

(4) 結果の公表	教職員・寄宿舎指導員の自己評価及び生徒用、保護者用各アンケート結果と今後の改善方策について、学校のホームページに掲載する。また、保護者に結果を配布する。
-----------	--

自 己 評 価					学校関係者評価	(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	ICT機器を活用した楽しく分かる授業づくりの推進	①校内ICT研修会の充実 ②ICT機器を活用した授業実践の蓄積と共有 ③ICT環境の整備	①「eライブラリ」の導入に向け、外部講師を招き授業場面での活用の仕方について機器操作をしながら体験的に研修を行うことができた。また、県の事業を活用して外部講師を招き、授業で活用できるアプリや情報モラルの指導に関することについて研修することができた。 ②先進校視察で得た情報を生かし、ICT機器を活用した授業の授業を公開した。ICT機器を活用した実践では、調べたことを生徒が小グループで共有し、整理しながら授業を進めたことで生徒同士の対話が深まった。 ③全校生徒のiPadで「eライブラリ」の活用ができるよう整備し、基礎学力向上に向けて理解度の確認や課題の提示に効果的に活用した。	A	・ICTに捉われ過ぎず、本質を忘れないようにしながら活用してほしい。 ・「授業の進め方が分かりやすい」の評価が上がっているのが素晴らしい。これからも教材等を工夫しながら取り組んでほしい。	①③新年度も授業で活用できるよう全職員を中心に「eライブラリ」活用等のミニ研修会の方が必要だと考える。 ②研修部ホームページの活用を継続する。
2	キャリア教育を通した全教職員による進路指導	①一人一人に合った実習先の選定 ②専門教科、流通・サービス、職業等における進路実現に向けた指導の充実 ③進路に関する学習会の充実	①一人一人の適性に合った実習先を選定できるよう面談を繰り返し、できること、できないことについて自己理解を促した。 ②働くスキルと併せて、社会人として必要な姿勢、態度について全職員で一貫して指導している。 ③進路面談や外部講師を招いた進路講話会、職業ガイダンス等を実施したり、職場見学を実施して実際に働く様子を見学したりしたほか、進路だよりを活用して進路に関する情報提供を行った。また、職員対象に「就労選択支援制度」について外部講師を招いて研修会を開き、新しい就労・障害福祉サービスについて理解を深めた。第2回学校運営協議会では、熟議で進路指導に関する課題と改善策について検討することができた。	A	・とてもきめ細かに行われている印象であり、それが主体性に繋がっていると思う。自分で考え、行動していけるような教育を実践されており素晴らしいと感じた。 ・進路状況について、一人一人のニーズに合った進路開拓が行われている印象を受けた。子供のニーズについて保護者と共有できるよう進めてほしい。	①一人一人に合った実習先を選定するため、学級担任だけでなく学年で検討することが必要だと考えられる。 ②③継続する。
3	生徒の主体性重視と社会性につなげる生徒指導	①生徒が主体となったいじめ防止活動の推進 ②生徒会活動や学校行事をととした社会性の醸成	①生徒会が中心となって充実した学校生活のあり方を検討し、いじめ防止等の内容を「二高養宣言」として表明した。いじめ認知（2件：前年に同じ）、懲戒（12件：前年比+7）があったが、生徒集会をはじめとする生徒会活動の中で仲間を認め合い、支え合うルールを作ることができた。 ②「二高養祭」では、多くの来場者を笑顔でもてなし、生徒主体の運営により協調性と社会性を養った。地域交流、青森工業高校・松風塾高校との交流及び共同学習、校外学習（Fly High等）の様々な場面で公共のマナーについて学習している。	A	・生徒たち自身が考えた二高養宣言は良い活動である。先生方の評価も昨年度より上がっており、うまく連動しているのがとても良いので、引き継いでいってほしい。 ・「学校が楽しい」など安心感につながる評価が高い。学校でニーズを聞いたり、寄宿舎で余暇活動を充実させたりした結果だと思う。懲戒が増えていることは気になるが子供の次につながる指導を重点にして進めていくことで、行動の改善に繋がると思う。	①生徒の思いを尊重した「二高養宣言」は、自分たちでよりよい学校生活のあり方を考える良い機会となっていることから継続する。 ②高校との交流及び共同学習は、生徒同士が分かりやすい作業の教え方を主体的に考え互いに教え合う経験ができることから継続する。

4	特色ある学校づくりと魅力発信	①中学校や就労先等への魅力発信 ②2KOYOPRODUCTS 全国発信 ③来校者へのPR	①「出前ガイダンス」に関しては、中学校の進路学習や保護者懇談会での情報提供等、中学校のニーズに応えるとともに本校の魅力を発信した。新たな取組として、要請のあった地区の中学校長会に出向き、学校概要説明を行い、本校について知り、中学校の進路指導に役立てていただく機会となった。 ②アンテナショップ（農園カフェ日々木、食工藤）での委託販売、青森駅自由通路への製品展示を実施し、Instagramや報道依頼をおして魅力を発信した。 ③中3、中1・2、保護者、教員、企業向け「オープンスクール」を実施し、生徒による専門教科の説明により、来校者に興味関心をもっていただくことができたことに加え、生徒自身の自信に繋がった。オープンスクールで使用した今年度の学校紹介動画には、生徒や卒業生の生の声を取り入れ、より本校の良さが伝わるようにした。	A	・出前ガイダンス、オープンスクール等の活動が実を結び、今年度の選抜に繋がったと思う。自由通路の展示も良かった。 ・先生方一人一人が最良化しながら生徒を思い、行動した結果が良い結果として出ていると思う。	①継続して実施する。産業科の学びと求める生徒像について、特別支援学校中学部にも発信していく必要がある。 ②より魅力のある発信の仕方として「もの作りへの思い」を生徒がInstagramで発信することが考えられる。 ③オープンスクール等の来校者に生徒が説明をする活動を今後も充実・継続していくのが望ましい。
---	----------------	--	---	---	---	---

(11) 総括	教職員の自己評価では、全ての項目が3.5以上と高評価であった。特に高評価だった項目は「いじめの未然防止」「生徒指導」で、昨年度との比較で0.3ポイント上昇している。小さな変化を見落とさないという教職員の意識の高さと機動力が要因になっていると考えられる。また、寄宿舎の保護者による評価では、全ての項目が3.6以上と高評価であった。特に「寄宿舎の余暇活動」については、昨年度との比較で0.4ポイント上昇している。親睦会に室内でも楽しめる新しい内容を取り入れるなど、寄宿舎生から好評を得ていたことが一因と考えられる。その他、「外部人材の活用」「関係機関と連携した取り組み」などの進路指導に関する項目、会計に関する項目、事務部に関する項目、PTA・家庭教育学級に関する項目、ホームページ等の情報発信も高評価であった。 自由記述に進路情報に関する意見があった。改善策として、次年度は職員向けの進路情報をグループウェアで周知・共有する予定である。また、実習先の選定に関しては、学年全体でよりよい実習先を考えていくことが考えられる。寄宿舎のルールに関する自由記述に関しては、男子棟、女子棟で基本線をしっかりと決めて指導できるよう検討する。さらに、校舎が古くなってきていることから、今後も危険箇所の有無について気を配り、必要な場合は早めの周知をし、全職員で学校安全に努めていく。
---------	---

令和6年度 生徒によるアンケート 集計

青森県立青森第二高等養護学校

4…とてもそう思う 3…だいたいそう思う 2…あまりそう思わない 1…まったくそう思わない

項目	番号	質 問	1学年			2学年			3学年			全体		
			R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4
友達	1	友達と一緒に話をしたり、遊んだりすることが楽しい。	3.6	3.5	3.7	3.2	3.6	3.6	3.6	3.3	3.5	3.4	3.5	3.6
	2	いろんな事を話し合える友達がいる。	3.6	3.6	3.7	3.4	3.6	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	3.6	3.5
	3	みんなで助け合って活動している。	3.5	3.6	3.7	3.2	3.7	3.4	3.6	3.3	3.2	3.4	3.6	3.4
先生	4	先生は、生徒の生活や興味・関心のあることについて知っている。	3.5	3.5	3.4	3.3	3.5	3.3	3.3	3.4	3.2	3.3	3.5	3.3
	5	先生は、生徒の悩みごとについて相談にのってくれる。	3.7	3.7	3.7	3.3	3.6	3.7	3.6	3.5	3.5	3.5	3.6	3.6
	6	先生は、よいことをしたときやがんばったとき、ほめてくれる。	3.6	3.6	3.7	3.3	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5
	7	先生は、失敗したとき、適切にアドバイスしてくれる。	3.7	3.7	3.7	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6
学習	8	専門教科の授業は、働くために必要な知識や態度について、ていねいに教えている。	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6
	9	先生は、現場実習や進路について、必要な情報を伝えてくれる。	3.8	3.8	3.8	3.5	3.7	3.8	3.7	3.6	3.8	3.7	3.8	3.8
	10	先生は、わからないことを聞くと、ていねいにおしえてくれる。	3.8	3.7	3.7	3.5	3.6	3.6	3.7	3.5	3.6	3.7	3.6	3.6
	11	授業の進め方は、わかりやすい。	3.5	3.2	3.6	3.4	3.5	3.2	3.6	3.2	3.5	3.5	3.3	3.4
	12	「学習の記録」を見て、勉強したことを振り返ることができる。	3.4	3.3	3.6	3.4	3.4	3.6	3.5	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4
特別活動	13	学校行事は楽しい。	3.5	3.5	3.4	3.1	3.2	3.4	3.3	3.1	3.0	3.3	3.3	3.2
	14	学級の活動や生徒会活動、委員会活動、部活動などにやりがいをもって取り組んだ。	3.6	3.6	3.5	3.3	3.4	3.4	3.5	3.4	3.4	3.5	3.5	3.4
	15	二高養祭の活動は、友達と協力して取り組める内容になっている。	3.7	3.6	3.5	3.4	3.6	3.4	3.6	3.4	3.3	3.6	3.6	3.3
施設設備・防災	16	生活や学習に必要な教室や場所、道具等が準備されている。	3.8	3.6	3.8	3.6	3.5	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6
	17	学校や寄宿舎の中に危険なところはない。	3.7	3.3	3.8	3.3	3.6	3.4	3.5	3.6	3.6	3.5	3.5	3.6
	18	学校や寄宿舎で火事や地震が起きたとき、どうすればよいか知っている。	3.6	3.8	3.8	3.8	3.9	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	3.8	3.6
学校生活	19	楽しい学校生活を送っている。	3.3	3.0	3.3	2.8	3.0	3.1	3.3	3.1	2.9	3.1	3.1	3.1
	20	目標をもって学校生活を送っている。	3.3	3.2	3.5	3.2	3.5	3.4	3.6	3.3	3.2	3.4	3.4	3.4
	21	この学校に入学してよかったと思う。	3.3	3.4	3.2	2.9	3.2	3.2	3.3	3.0	3.1	3.2	3.3	3.1

※黄色は「達成できている」もので昨年度より数値が高かった項目

ブルーは「努力を要する」もので昨年度より数値が低かった項目

令和6年度 学校に関する保護者アンケート結果 青森県立青森第二高等養護学校
4 そのとおりである 3 おおむねそのとおりである 2 やや違う 1 違う 0 分からない

		1学年			2学年			3学年			全体		
I 学校経営について		R6	R5	R3	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4
1	学校は、教育方針や取り組みについて分かりやすく伝えている。	3.46	3.6	3.6	3.6	3.3	3.4	3.6	3.3	3.5	3.6	3.4	3.5
2	学校は、教育活動の様子や結果を分かりやすく伝えている。	3.48	3.6	3.5	3.7	3.4	3.4	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5	3.5
3	学校は、生徒や保護者のプライバシーに配慮している。	3.54	3.5	3.6	3.6	3.4	3.6	3.7	3.5	3.5	3.6	3.5	3.6
4	学校は、産業科の特色を生かした教育活動を推進している。	3.54	3.6	3.6	3.7	3.4	3.4	3.7	3.4	3.7	3.6	3.5	3.6
5	学校は、寄宿舎の機能を生かした指導が行われている。	3.33	3.6	3.5	3.7	3.6	3.4	3.6	3.4	3.6	3.6	3.5	3.5
II 学習指導(指導計画、指導内容・方法、評価)・生徒指導について													
6	学校は、個別的教育支援計画(指導計画)を作成し分かるように説明している。	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	3.7	3.4	3.6	3.6	3.4	3.5
7	生徒の課題や指導の方針等について担任と共通理解ができて	3.46	3.5	3.5	3.6	3.3	3.5	3.6	3.4	3.5	3.6	3.4	3.5
8	いる。												
9	生徒が将来自立した生活を営むために必要な力を育てる指導が	3.5	3.6	3.6	3.7	3.3	3.6	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5	3.6
10	行われている。												
11	学校は、就労に必要な知識・技能の定着を目指した指導が行わ	3.5	3.7	3.6	3.7	3.2	3.5	3.7	3.4	3.6	3.6	3.4	3.6
12	れている。												
13	授業が分かるように学習内容を工夫したり、ICT機器を活用し	3.5	3.5	3.4	3.7	3.3	3.5	3.7	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5
14	たりするなど指導方法を工夫されている。												
15	「学習の記録」は、生徒の成長や進歩が分かりやすく書かれて	3.35	3.5	3.5	3.7	3.4	3.4	3.6	3.4	3.6	3.6	3.4	3.5
16	いる。												
17	学校は、アンケート(あなたからのメッセージ)や面談を実施し	3.46	3.5	3.3	3.8	3.2	3.3	3.6	3.3	3.4	3.6	3.3	3.3
18	て、いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。												
III 学校行事について													
19	二高養祭の時期や日程は適切である。	3.54	3.7	3.7	3.8	3.6	3.8	3.7	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7
20	二高養祭は、生徒が中心となって意欲的に活動している。	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6	3.8	3.7	3.7
IV 進路指導について													
21	必要な進路情報が適切に提供されている。	3.31	3.5	3.5	3.6	3.5	3.3	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	3.5
22	進路について担任等と適切な話し合いが行われている。	3.35	3.5	3.5	3.6	3.5	3.4	3.7	3.6	3.7	3.6	3.5	3.5
23	現場実習の期間・内容等は適切である。	3.56	3.5	3.6	3.61	3.3	3.4	3.72	3.6	3.8	3.64	3.5	3.6
V 保健・安全について													
24	日常の健康管理や規則正しい生活習慣を身に付ける指導が行	3.5	3.6	3.7	3.7	3.4	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6
25	われている。												
26	交通安全や防災についての指導が行われている。	3.46	3.6	3.5	3.7	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5	3.5
27	学校は事故、けが、病気、災害等が発生した場合に、適切に対	3.54	3.6	3.6	3.7	3.4	3.6	3.7	3.4	3.6	3.7	3.5	3.6
28	応している。												
29	学校の安全管理は適切に行われている。	3.58	3.6	3.6	3.8	3.4	3.4	3.7	3.5	3.6	3.7	3.5	3.5
30	学校は緊急時の対応や連絡体制においてに適切に対応してい	3.5	3.7	3.6	3.7	3.5	3.5	3.7	3.4	3.5	3.7	3.5	3.6
31	る。												
VI 家庭・学校の連絡													
32	家庭への連絡(学年・学級だよりなどを含む)は適切に行われ	3.58	3.7	3.7	3.7	3.4	3.5	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6
33	ている。												
34	学校(担任等)との話し合いは適切に行われている。	3.56	3.7	3.6	3.7	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6
VII PTA活動等													
35	各種委員会、家庭教育学級、地域ブロック活動、二高養祭模	3.3	3.5	3.5	3.68	3.5	3.5	3.83	3.5	3.5	3.63	3.5	3.5
36	擬店活動は適切に行われている。												
37	同窓会や地域ブロック活動の計画・内容等を理解している。	3.32	3.4	3.5	3.57	3.3	3.4	3.59	3.4	3.4	3.51	3.4	3.5
38	会計報告はPTA総会で適切に行われている。	3.44	3.5	3.6	3.7	3.5	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6
VIII 総合的・他													
39	お子さんを本校に入学させてよかったと思っている。	3.67	3.9	3.7	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7

*黄色は「達成できている」もので昨年度より数値が高かった項目 ブルーは「努力を要する」もので昨年度より数値が低かった項目

記述欄

△二高養祭の子供たちの生のパフォーマンスを保護者も見られるとよいと3年間思いました。周りの保護者からも同様の声がありました。また、クリーニングで販売しているTシャツが大好きで3年間買い続けました。今年の素材より以前の方が好きですが、プリントの素材が年々変化があって良いと思います。もっと増やしても売れると思います。来年は農業の大根に期待しています。 ○いつもありがとうございます。本人が毎日頑張っていることが伝わってきます。実習等も経験し、色々と身に付けている最中だと思えます。これからも相談させていただきます。 ○担任の先生や2年生の先生方が、子供の悩みや不安に対し、しっかりと話を聞いてアドバイスしてくれています。本当にいつもありがとうございます。 △部活動についてですが、せっかくの活動日が会議等で流れることが多いと感じています。何とかありませんか。 ○学校生活が充実して楽しく送ることができるのも先生方の日頃のご指導のおかげだと感謝しています。以前は、どこか自信のない様子も見られましたが、入学以来、前向きに自分に自信が持てたような様子が感じられ、親として嬉しい限りです。 △体調不良の時、何か言いつらさ(なかなか言い出せない)があり、そこが困難と話していました。 △配布物を可能な限り、学びポケットやメールなどパソコンやスマホで見られるようにして紙媒体を減らしてもらえると助かります。押印も無くなると助かります。 △PTA...という感じです。一度話す機会があってもよいと思います。
--

4 そのとおりである 3 おおむねそのとおりである 2 やや違う 1 違う 0 分からない

No	評 価 項 目	全 体		
		R6	R5	R4
1	寄宿舎は、お子さんの様子について、分かりやすく伝えている。	3.7	3.6	3.7
2	寄宿舎は、生徒一人一人の特性に配慮した指導や対応をしている。	3.7	3.5	3.6
3	寄宿舎は、生徒のプライバシーが守られるように、適切に配慮している。	3.7	3.7	3.8
4	寄宿舎は、基本的な生活習慣が身に付く指導を、適切に行っている。	3.7	3.7	3.7
5	寄宿舎は、社会的な生活習慣(金銭管理・余暇利用等)を身に付ける指導を、適切に行っている。	3.7	3.6	3.7
6	寄宿舎は、勤労意欲を育てる取り組みを、適切に行っている。	3.7	3.6	3.5
7	寄宿舎は、行事や余暇活動を適切に行っている。	3.8	3.6	3.8
8	寄宿舎は、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。	3.7	3.5	3.7
9	寄宿舎は、集団生活や社会のルールを守って生活するための指導を、適切に行っている。	3.7	3.7	3.5
10	寄宿舎指導員は、生徒の悩み事等の相談にのっている。	3.6	3.6	3.6
11	寄宿舎は、家庭との連絡や話し合いを、適切に行っている。	3.7	3.5	3.7
12	寄宿舎は、連絡帳や通信(ホームページ)などを通して、寄宿舎生活の様子を分かりやすく伝えている。	3.8	3.6	3.8
13	寄宿舎は、納入金や収支決算の説明を、適切に行っている。	3.7	3.7	3.7
14	寄宿舎の施設・設備は、生徒が利用しやすいよう配置されている。	3.6	3.5	3.6
15	寄宿舎の安全管理は適切に行われている。	3.7	3.6	3.8
16	寄宿舎は、緊急時(台風等の災害)対応について、適切に説明している。	3.6	3.6	3.7
17	寄宿舎は、不審者侵入防止対策を、適切に行っている。	3.7	3.6	3.8
記 述 欄	○子供と電話のみのやりとりでは、伝わり方が不十分なことがあり、そのような時に寄宿舎の先生が間に入ってくれて伝わり、本当に助かっています。いつもありがとうございます。 ○子供のやることがマイペースで遅いので、しっかり見ていただき、言葉をかけてくださいます。ありがとうございます。 ○いつもありがとうございます。 △体調不良時、たまに言いづらさ(なかなか言い出せない)ことがあり、そこが非常に難しいと話しておりました。 ○いつもお世話になって感謝しております。			

※黄色は「達成できている」もので昨年度より数値が高かった項目

ブルーは「努力を要する」もので昨年度より数値が低かった項目

I-1 自己評価[令和6年度学校目標・経営方針・重点項目]集計結果

「4」…達成できた 「3」…おおむね達成できた 「2」…あまり達成できなかった 「1」…達成できなかった 「0」分らない

項目	評価規準		評価							
			4	3	2	1	0	R6	R5	R4
1 学校経営・校務全般	1.1.1	学校は、生徒や学校・地域の実態を踏まえた学校目標を設定している。	26	20	0	0	0	3.6	3.4	3.5
	1.1.2	学校は、教職員が自ら職務に責任をもち、意欲的に仕事ができる環境を整えることに努めている。	28	18	0	0	0	3.6	3.5	3.4
	1.1.3	学校は、教育目標や教育課程について、生徒や保護者に対して説明をしている。	25	20	1	0	0	3.5	3.4	3.5
	1.1.4	学校は、個々の生徒の個性を伸ばすことを教育目標に設定し、教育活動に取り組んでいる。	31	14	1	0	0	3.7	3.5	3.6
	1.1.5	学校は、学校・学級・PTA等の経理を適切に処理し、関係書類を適切に保管している。	35	10	0	0	1	3.8	3.6	3.6
	1.1.6	学校は、産業科の特色を生かした教育活動を推進している。	32	12	2	0	0	3.7	3.6	3.6
	1.1.7	学校は、寄宿舎の機能を生かした指導を行っている。	22	22	1	0	1	3.5	3.3	3.3
	1.1.8	学校は、部活動の目標や方針を設定し、教職員が共通理解をしている。	23	23	0	0	0	3.5	3.4	3.5
	1.1.9	学校は、部活動を実施するための体制・組織や役割分担を明確にしている。	24	22	0	0	0	3.5	3.4	3.5
	1.1.10	学校は、施設・設備を整備し、有効に活用している。	27	19	0	0	0	3.6	3.4	3.5
	1.1.11	学校は、校舎内外の美化と安全に努めている。	30	15	1	0	0	3.6	3.5	3.6
2 全教職員による進路指導	1.2.1	学校は、個別の指導計画に基づいて、キャリア教育の視点から、生徒の社会的、職業的自立に必要な力を計画的に育んでいる。	27	19	0	0	0	3.6	3.5	3.5
	1.2.2	学校は、外部の人材や施設等を活用するなど、地域との連携協力の下に教育活動を展開している。	31	15	0	0	0	3.7	3.5	3.5
	1.2.3	学校は、学級担任、進路指導部、寄宿舎担当等による校内の協力体制を築き、生徒の社会的・職業的自立に必要な力を計画的に育んでいる。	28	17	1	0	0	3.6	3.5	3.5
	1.2.4	学校は、最新の進路情報を整備し、授業の中で活用することや、保護者への分かりやすい情報提供に努めている。	29	16	1	0	0	3.6	3.4	3.5
	1.2.5	学校は、関係機関と連携した取組を積極的に行っている。	33	13	0	0	0	3.7	3.5	3.4
	1.2.6	学校は、生徒個々の実態や適性、本人及び保護者の希望等を踏まえた現場実習を実施している。	27	17	2	0	0	3.5	3.5	3.6
3 生徒の主体性や人間関係づくりを重視した生徒指導	1.3.1	学校は、生徒が自他の理解を深め、円滑な人間関係を構築することで、積極的、協働的に集団活動へ参加できるように、お互いを認め合える集団づくりと一人一人が力を発揮できる場面づくりに努めている。	30	16	0	0	0	3.7	3.5	3.5
	1.3.2	学校は、生徒が自ら判断し、行動できるように、生徒の気持ちや考えを大切に生徒指導に努めている。	30	16	0	0	0	3.7	3.5	3.5
	1.3.3	学校は、生徒会活動や対外的スポーツ大会並びに文化的活動への参加、資格取得等へのチャレンジなどを通して、生徒の主体性を育てている。	33	13	0	0	0	3.7	3.6	3.6
	1.3.4	学校は、体育や専門教科の授業、部活動、体育的行事等において、生徒が主体的に取り組み、健康・体力・持久力の向上を図っている。	28	18	0	0	0	3.6	3.6	3.6
	1.3.5	学校は、社会資源の活用や緊急時の対応、情報モラルの習得など、社会生活を営む上で必要なスキルや規範意識の育成に向けた指導を計画的に進めている。	29	17	0	0	0	3.6	3.5	3.4
	1.3.6	学校は、いじめや問題行動等の未然防止、早期発見、迅速な対応に努め、家庭や関係機関と連携して、組織的な取組を行っている。	35	11	0	0	0	3.8	3.5	3.5
	1.3.7	学校は、定期あるいは必要に応じて教育相談を実施するなど、生徒との意思疎通を図るよう体制を整えている。	35	10	0	0	1	3.8	3.6	3.5
	1.3.8	学校は、生徒の自己肯定感を高める支援の充実に取り組んでいる。	22	23	0	0	1	3.5	3.4	3.5
4 整備と言語活動の充実	1.4.1	学校は、将来の社会生活・職業生活に必要な「挨拶」「返事」等の基本的なやりとり、相手や場面に応じたコミュニケーションスキルの一層の向上に努めている。	31	15	0	0	0	3.7	3.5	3.6
	1.4.2	学校は、生徒の人格や人権を尊重し、教職員自らが生徒の手本となるよう、適切な言語環境の整備に努めている。	22	24	0	0	0	3.5	3.4	3.4
	1.4.3	学校は、授業や様々な活動の中で、発表や作文活動、話し合いの場の設定など、生徒の考えや意見を表現する機会を大切に、言語活動の充実を図っている。	28	17	0	0	1	3.6	3.5	3.5

5 地域の 対する 協力 体制 の 構築	1.5.1	学校は、小中高等学校等からの要請に応じ、巡回相談等を通してセンター的機能を積極的に果たしている。	26	17	1	0	2	3.6		
	1.5.2	学校は、本校に対する理解並びに中学校からの一貫した指導を推進する機会として、中学生や保護者、中学校教員を対象としたオープンスクール及び研修会に取り組んでいる。	32	14	0	0	0	3.7	3.5	3.5
	1.5.3	学校は、地域の高校や施設、町内会等との交流を積極的に進める中で、本校の教育活動に対する理解啓発と相互協力体制の構築に取り組んでいる。	29	16	0	0	1	3.6	3.5	3.5
	1.5.4	学校は、ホームページや各種情報発信を通して、本校での学習の様子や生徒の活躍、学校の姿を地域社会に積極的に発信している。	36	10	0	0	0	3.8	3.6	3.5
6 校内 研究 の 自己 研 修	1.6.1	学校は、ICT機器を活用し、その効果を検証するとともに実践の蓄積・共有を図る校内研究に計画的に取り組んでいる。	27	19	0	0	0	3.6	3.5	3.5
	1.6.2	学校は、学校課題に基づいて、校内研修会の実施及び校外研修会への参加を計画的に行っている。	28	17	0	0	0	3.5	3.5	3.5
	1.6.3	学校は、生徒にとって分かりやすい授業を目指し、ICT機器の活用など指導方法の工夫を通して、授業改善に取り組んでいる。	27	18	0	0	1	3.6		

自由記述	
1.2.4	進路情報を生徒・教員全員が把握できる環境がないような感じがする。掲示したりしたほうがいいかも！また、一般就職先の新規企業の開拓が足らず、卒業生がいる企業ばかりなような気がする。進学できる生徒もいるので、進学先も積極的に案内したほうがいいのではと思いました。
	生徒の清掃では行き届かないところがあるので、担当が美化に努める。校舎内外を巡回し美化と安全に努める。
1.2.6	実態に合っていない実習先を選定してしまった生徒がいるように思う。学年会議等で学級だけでなく他の授業で見られている課題を先生方と共有し、丁寧に実習先を選定してはどうか。
1.1.6	定員割れの学年では産業科の学習が厳しい生徒もいるので、ある程度の合格の基準点等を設定できないものでしょうか。常に高緊張に見え、もっと伸び伸び学習環境の所に行ければと思うことがあります。
1.2.6	福祉か一般かの判断基準や校内テストなどがあれば実習先選定に根拠が持てると思います。本人よりも保護者の意向が強い時が多々見られていると思うので。 今後も学校の特徴を生かし、必要な研修は積極的に行っていくと良い。 生徒についてより理解を深め、指導できるようにしていきたい。
1.1.6	全入の学年では産業科としての授業や活動内容が厳しい生徒もいる。二高養らしさはできても「産業科」としては疑問に思うところもある。定員もあるかと思うのでこれといった改善策は難しいと思うのですが。
1.1.7	寄宿舎独自のルールがあると聞いたことがある（髪の洗いや洗濯方法など）。集団生活する上でしょうがないところもあるとは思いますが、家庭に近かったり、生徒に寄り添ったりした指導ができるとより過ごしやすいのかなと思います。

I-2 自己評価[各学部・分掌の重点事項]集計結果

「4」…達成できた 「3」…おおむね達成できた 「2」…あまり達成できなかった 「1」…達成できなかった 「0」分からない

学校 学年 分掌	評 価 規 準		評 価							
			4	3	2	1	0	R6	R5	R4
学 年	2.1.1	1学年は、二高養生としての自覚を育て、望ましい生活習慣と、基礎的、基本的な学力を身につけさせている。	19	20	1	0	6	3.5	3.5	3.5
	2.1.2	1学年は、将来の社会的、職業的自立に必要な生活経験の拡大を図っている。	23	18	0	0	5	3.6	3.5	3.5
	2.1.3	1学年は、学年懇談会や学年通信等を通して、保護者に適切に情報を提供するとともに、保護者、他学年、寄宿舎等と連携している。	24	16	0	0	6	3.6	3.5	3.6
	2.2.1	2学年は、中堅学年としての自覚を育て、望ましい生活習慣の確立や基礎学力の向上を図っている。	20	22	0	0	4	3.5	3.5	3.4
	2.2.2	2学年は、将来の社会的、職業的自立に必要な基礎知識・技能の習得及び態度・習慣の形成を図っている。	22	20	0	0	4	3.5	3.5	3.4
	2.2.3	2学年は、学年懇談会や学年通信等を通して、保護者に適切に情報を提供するとともに、保護者、他学年、寄宿舎等と連携している。	24	17	0	0	5	3.6	3.5	3.5
	2.3.1	3学年は、最高学年としての自覚を育て、充実した学校生活の確立を図っている。	30	12	0	0	4	3.7	3.5	3.5
	2.3.2	3学年は、将来の社会的、職業的自立に必要な基礎的知識・技能の習得及び態度、習慣の定着を図っている。	28	14	0	0	4	3.7	3.5	3.5
	2.3.3	3学年は、本人及び保護者のニーズを踏まえ、関係機関等と連携して進路指導（移行支援含む）を行っている。	28	14	0	0	4	3.7	3.6	3.6
分 掌	2.4.1	教務部は、学校課題や生徒の実態を踏まえた教育課程を編成し、学年間、寄宿舎との連絡調整をしながら教育活動を展開している。	31	13	0	0	2	3.7	3.6	3.6
	2.4.2	教務部は、中学校や関係機関等のニーズに応じて学校見学会、説明会等を実施し本校の教育活動への理解啓発を図っている。	37	9	0	0	0	3.8	3.7	3.6
	2.5.1	生徒指導部は、学校行事や生徒会活動及び部活動を通して、主体的、協調的な態度及び望ましい人間関係の構築や社会性の育成を図っている。	35	11	0	0	0	3.8	3.5	3.5
	2.5.2	生徒指導部は、各学年及び寄宿舎、保護者、外部機関と連携し、生徒の問題行動やいじめの未然防止及び早期発見に努め、組織的に対応している。	35	10	0	0	1	3.8	3.5	3.5
	2.6.1	保健安全部は、生徒の健康状態を的確に把握し、生徒が主体的に健康管理できるよう支援している。	31	15	0	0	0	3.7	3.6	3.6
	2.6.2	保健安全部は、より良い生活習慣の育成のため、食と生活を含む給食指導の充実を図っている。	29	16	0	0	1	3.6	3.6	3.6
	2.6.3	保健安全部は、緊急時の対応等を含め、危機管理マニュアルの一層の充実を図っている。	34	12	0	0	0	3.7	3.6	3.5
	2.7.1	進路指導部は、生徒個々の実態や適性、本人及び保護者の希望等を踏まえた現場実習を実施している。	32	14	0	0	0	3.7	3.6	3.6
	2.7.2	進路指導部は、最新の進路情報を整備し、学級担任や保護者との適切な情報共有に努めている。	33	12	1	0	0	3.7	3.6	3.6
	2.8.1	研修部は、学校課題の改善に向けた校内研究、校内研修会の実施により、教員の専門性の向上を図っている。	29	17	0	0	0	3.6	3.6	3.5
	2.8.2	研修部は、県内外の研修会開催等に関する情報を適切に紹介し、研修の機会を提供している。	31	15	0	0	0	3.7	3.5	3.6
	2.9.1	渉外部は、保護者と連携し、家庭教育学級、地域ブロック活動等PTA活動の活性化を図っている。	33	12	0	0	1	3.7	3.6	3.6
	2.9.2	渉外部は、特P連、県知P連、高P連の加盟校として事務局と連携し、計画的に研修会等の案内をしている。	34	11	0	0	1	3.8	3.7	3.6
	2.10.1	寄宿舎は、集団生活を通して、よりよい人間関係の構築及び将来の社会人として必要な生活習慣の定着を図っている。	28	14	2	0	2	3.6	3.4	3.3
	2.10.2	寄宿舎は、余暇指導の充実を図っている。	27	16	1	0	2	3.6	3.2	3.3
	2.11.1	事務部は、学校の窓口として適切な対応をしている。	32	13	1	0	0	3.7	3.7	3.6
	2.11.2	事務部は、教材購入等において教員と十分な連携を図っている。	36	8	0	0	2	3.8	3.8	3.6

※黄色は「達成できている」もので昨年度より数値が高かった項目
ブルーは「努力を要する」もので昨年度より数値が低かった項目

* 2 又は 1 の評価をした場合、改善のための意見を記入してください。

2. 7. 2 学級担任と保護者だけではなく、全教員も連携すべきと思う

学校と寄宿舎の情報共有が大切だと感じています。

全体的に先生方はとても繊細なところまでよく気がきくなと感心します。なかなか思うとおりに指導が入っていかず、ジレンマを感じるとはいますが、継続した指導でなんとか生徒の自律や進路決定、卒業等を目指して欲しいです

2. 10. 1 寄宿舎のルールが女子と男子で大きく違うと良く聞く。お風呂や洗濯など。生徒の話を聞いている限りなので実際はどうか分からないが、納得がいかない生徒へは個別に説明が必要ではと思います。

2. 1. 1 挨拶や返事等がまだまだだと思う。精神的にも若い生徒が多く、人との関わり方が若い生徒も多いので、基本的なところを学年全体で指導していくべきだと思う。生徒の中で、この先生の前だからしっかりやる、この先生だったら緩くても良いなどがあってはいけないと思う。そのためにも教師全員で同じ意識をもって取り組んでいきたい。